

広
報

えちご上越

特 集

第7回 JA えちご上越
フォトコンテスト結果発表

10

2022
Vol.260



こころ耕し、いのち育む。

JAえちご上越

新たな地で 農業・地域を受け継ぐ

上越市鍋ヶ浦
古岩 樹さん(23)

刈り取り前の黄金たなびく圃場にて



稲刈り前のすみ刈り。“今行っている作業があとあとどういう影響を及ぼすか”を考えながら作業に取り組む。



板垣さん(右)と作業手順を確認。効率を考えながら進めます。

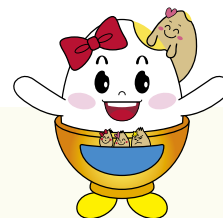
上越市谷浜地区で研修生として農業を学ぶ古岩樹さん。生まれ育った千葉県から遠く離れたこの地で農業を始めた古岩さんには運命と呼べる出会いがありました。

幼い頃より祖父母や両親の影響で自然や農業と触れ合う機会が多かったという古岩さん。小学校3年生の時に授業の一環で行ったバケツ稲栽培。その稲から採取した粳を、家の庭に作った田んぼで、翌年以降も栽培を続けていたと話します。高校では生産技術科野菜専攻で園芸を学び、専門学校では自然環境保全を専攻しました。専門学校の友人の紹介で、インターシップで同地区のNPO法人を訪れた際に地元の農家板垣義一さんと出会います。板垣さんは地区の耕作地を引き受け、複合農業を営むことと並行して、先を見据え後継者を探していました。居合わせた古岩さんはその話を聞き、農業への熱い思いが込み上げてくるのを感じたと言います。板垣さんに誘われ、翌年の稲刈りを体験、古岩さんはこの地区に移り住み農業を営むことを決めました。

令和3年春に移住し、研修生として板垣さんのもとで農業に携わる中で「天候に左右されながら、自分で作業を組み立てる、農業の楽しさ、そして難しさを実感した」と話します。元来こだわりが強く、丁寧な仕事をする古岩さんは板垣さんに「丁寧な作業は大事だが作業効率が落ちてしまう。『農業』を営むための効率も考えて」と指導を受けたそうです。古岩さんは板垣さんから栽培についての技術とともに、農業経営も学びながら日々取り組んでいます。令和6年には板垣さんからの経営委譲により独立を予定しているという古岩さんは毎日が真剣勝負で農業と向き合っています。

「今後はこの圃場で良い物を作り続けながら、地域の耕作地を守っていききたい。そして、私が作ったものを選んでくれる消費者に喜んでもらえるように努力していきたい」と話します。必然のような偶然からこの地で就農し生活を始めた古岩さん。担い手として地域農業と地域の未来を支えています。

経営 メモ	水稻 3㍑ 園芸 30% (ダイコン、盆花 ほか)
----------	------------------------------



考えよう！「国消国産」

10月16日は「国消国産の日」!!

国消国産てなあに？

国民が必要とし消費する食料は、自分の国で生産する「国消国産」という考え方がいま、注目されています。日本の食料自給率は38%。先進国で最も低いレベルにあり、自分たちで消費する食料の6割以上を輸入に頼っています。新型コロナウイルスの感染が広がり始めたとき、マスク不足が大きな問題となりました。もしこれが食料だったらどうなっていたでしょうか？農地を耕して自然と調和しながら育まれる農畜産物は、不足したからといってすぐに作ることはできません。最近、世界中で異常気象による自然災害が発生しています。一方、日本国内では耕地面積や農業をする人が減り続けています。国内の農業生産が増えずに食料を海外に頼り続けたら、一体どうなるでしょう？



JAグループは2021年に「世界食料デー」の10月16日に合わせて、この日を「国消国産の日」としました。国消国産の取り組みを進めることは、食料、農業、地域社会、環境など、国連が掲げるSDGsの達成にもつながります。



特設サイトはコチラ

こくしょうこくさん

推します「国消国産」

乃木坂46

乃木坂46と食や農業を学ぶ、動画やクイズを特設サイトで公開中 ➡

役員会だより(主な協議事項)

第7回理事会(8月18日開催)

・令和4年産米仮渡金について

第8回理事会(8月30日開催)

・「不良債権」の処理方針(新規および変更)について

・諸規程等の変更について

- I. 育児・介護休業等に関する規程
- II. 資産査定要領

JA えちご上越の組合員

38,835 人

(令和4年8月末現在)

正組合員 16,367 人
准組合員 22,468 人

●氏名・住所・電話番号・組合員資格に変更があった場合は、JAまでご連絡ください。

16	15	14	11	10	8	6	4	3	2
うんまいレシピ	おたより広場	クロスワードパズル	直売所通信 JAからのお知らせ	知って得する 信用・共済	教室募集	営農情報	今月の話題	特集 「国消国産」 考えよう！ とれたて情報	F I A C E
							フォトコンテ スト結果発表		

目次

特 集

第7回 JA えちご上越

結果
発表



フォトコンテスト

テーマ

JA えちご上越の「食」「農」「地域」

当JAでは地元の食や農業、農村風景、自然、伝統文化を見つめ直し、その魅力を広く伝承するため、フォトコンテストを実施しています。今年度は上越市・妙高市内から83点の応募がありました。9月7日の審査会で決定した最優秀賞を含む12点の入賞作品をご紹介します。



最優秀賞

「初冬の景色」小日向 博幸さん(中郷区片貝にて撮影)



優秀賞

「鵜の浜カッパの伝説巡り」

渡辺 章雄さん(大潟区鵜の池にて撮影)



優秀賞

「今も昔も変わらない景色」

柳澤 正行さん(妙高市姫川原地区にて撮影)





入選 「まんぷくひなたぼっこ」

小山 明子さん
(吉川区片田にて撮影)



入選 「吹雪く城」

金子 和博さん
(高田城址公園にて撮影)



入選 「残柿」

宮内 尚幸さん
(浦川原区坪野にて撮影)



入選 「諏訪神社 大祭」

内山 勝彦さん
(大島区田麦にて撮影)



入選 「田に映える妙高山」

田地野 環さん
(妙高市橋本新田にて撮影)



入選 「高田の春、大空にブルーインパルス」

小日向 博幸さん
(上越市本城町にて撮影)



入選 「晩秋の棚田」

栗本 実さん
(浦川原区法定寺にて撮影)



入選 「高原の秋」

清水 陽一さん
(妙高市笹ヶ峰にて撮影)



入選 「夕照」

新井 浩樹さん
(牧区川井沢にて撮影)

入賞作品12点は、令和5年のJAオリジナルカレンダーに掲載させていただきます。
カレンダーは、12月上旬のふれあい訪問を通じて組合員のお宅にお届けするほか、
本店・支店・出張所の窓口にもご用意します。お手元に届くまでお待ちください。



※写真は令和4年のカレンダーです。



出来秋の喜びを実感！

新採用職員 農業実習で稲刈りに挑戦



◀ 真剣な表情で機械を操作する職員。

▶ 作業を終え、充実した表情を見せる新採用職員。



令和4年度の新採用職員10人は、農業実習として春から米づくりについて学んでいて、8月29日には稲刈りを行いました。

新採用職員はコンバインによる稲刈り班、鎌を使ったすみ刈り班に分かれて作業し、途中で交代しながらそれぞれの作業を実施。緊張した面持ちで機械を操作する者、慣れない姿勢でのすみ刈りに苦労する者といいましたが、終わるころには充実した表情を見せ、収穫の喜びを実感していました。

出荷規格や荷造方法の均一化を図る

やわ肌ねぎ出荷目合わせ会



生産者に正しい詰め方を説明する園芸畜産課職員。

園芸畜産課は9月12日に原通集荷場にて、やわ肌ねぎの出荷目合わせ会を行いました。今年度から販売方法が共販体制へ変更となり、出荷規格や荷造方法の均一化を図ることを目的に開催。頸南地区の生産者や市場関係者、行政関係者、JA職員など計12人が参加しました。

生産者が収穫したねぎを見本にして軟白部の太さや長さ、葉の枚数、調整の方法などを確認。また、園芸畜産課職員が出荷時の箱詰め基準と正しい詰め方を生産者へ説明しました。

園芸畜産課では12月下旬まで、市内・県内の市場、食品メーカーへ販売する予定です。

JA えちご上越の話題 ホームページやSNSでも発信中！



こころ耕し、いのち育む。
JAえちご上越
ホームページ

スマートフォン
からもご覧
いただけます！



JA えちご上越の
Facebook はこちら▶



上越あふん村 ホームページ
旬の情報が満載！
Facebookもあります



公式LINEはこちら▶ ID @tux9467b

営農情報がスマートフォンに届く！



JA えちご上越(営農部)
公式LINEはこちら▶ ID @618zoxpw



NEW インスタ始めました！

Instagram

JA えちご上越 営農部【公式】
Instagram はこちら▶



JA カレンダーを飾る12作品を決定

第7回JAえちご上越フォトコンテスト



審査を行う様子。

9月7日、本店にて今年度のフォトコンテスト審査会を開催しました。JA常勤役員7人の他、JA新潟中央会と日本農業新聞の担当者が出席し厳正に審査。83点の作品の中から最優秀賞、優秀賞を含む12点の入賞作品を選定しました。入賞作品は今月号の特集(4・5頁)をご覧ください。表彰式は10月中旬に行い、当日の様子は広報誌11月号でお知らせいたします。

完成したカレンダーはふれあい訪問を通じて組合員へ進呈する他、各支店や直売所などで無料配布する予定です。





サツマイモの蔓返し作業を行う女性部員。



花の圃場の様子。(9月12日撮影)

共同畑で野菜・花を栽培し、地域を活性化 妙高高原地区女性部・一地区一特産品づくり

今年度からJA管内全地区で「一地区一特産品づくり活動」に取り組んでいます。地区単位で特産品づくりを行うことで女性部の活性化を図り、様々な組織との連携によって元気な地域づくりをすることが目的です。

妙高高原地区女性部は遊休田を活用した女性部共同畑で、ヤーコンやサツマイモを栽培。10月22日に地元の子供達の収穫体験を予定し、年代を超えた交流にも役立てています。また、コキアやコスモス、リンドウなど花も栽培し、手作りのかかしも設置。色鮮やかで、にぎやかな畑では女性部員が楽しみながら作業を行っています。

女性部員は共同畑で育てたカボチャやジャガイモなどを『キラキラ日曜朝市*』で販売しています。

※いもり池にて毎週日曜日午前11時から午後1時30分まで開催。
女性部員の畑で採れた野菜や手作りの小物なども販売しています。



Point!

JAえちご上越女性部は元気な地域づくりを実践していきます。

三和支店活動検討委員会 未使用タオルをJA介護施設に寄付



代表してふれあいの里・五公の職員が受け取りました。(三和支店にて)

三和支店活動検討委員会は高齢者福祉部・介護施設へ未使用タオルを寄付しました。管内組合員や女性部などに寄付を呼びかけ、計345本が積み上がりました。

介護施設では利用者の入浴やお手拭き、掃除など多くの場面でタオルを使用する機会があるため、支店協同活動の一環として寄付を計画。8月19日に贈呈式を行い、武田敏一支店活動検討委員会会長が高齢者福祉部へ贈呈しました。橋本由美子高齢者福祉部長は「タオルをご寄付いただき大変ありがとうございます。介護施設にて有効に活用させていただきます。皆様の温かいご支援に感謝いたします。」と話しました。



Point!

JA支店は支店協同活動を通して、地域に根差した社会貢献を進めてまいります。

「求められる上越米」を目指して 令和4年産つきあかり初検査&初出荷!



◀水分や粒の状態を確認する検査員。



▶ 検査後に早速、トラックへ積み込み出荷しました。

8月24日に令和4年産米初検査を長面倉庫にて行い、上越市内の生産者が出荷した「つきあかり」21.42トンを検査しました。早場米(注)ということで青未熟粒が見受けられましたが、胴割粒や被害粒は見られず、粒の張り及び厚さともに平年並。検査を受けた米は関東方面へ出荷されました。

今後は11月下旬まで倉庫やカントリーエレベーターなど管内23カ所で検査を行う予定です。(注)早場米:通常の出荷時期より早い米



Point!

えちご上越米の販路拡大のために、取引先からの需要を的確にとらえ、応えるための販売戦略を実行していきます。

令和4年度農政広報資金について

対象の組合員の皆様からの拠出金等により造成された農政広報資金は、さまざまな農政活動で活用されています。
令和4年度の取り組み事項及び収支予算計画は以下の通りです。

<日本農業新聞 水田農業対・農政広報資金特集号(2022年7月)からの抜粋ほか>

◆ 令和4年度の取り組み事項

○農政対策本部委員会の開催

水田農業対策、県施策・予算対策等の農政課題について検討するために、適宜開催する。

○基本政策の確立対策

国や県等に対して、農政諸課題について要請活動等を通じた政策要望を行う。

○水田農業対策

米の需要減少が続く中、地域の実態を踏まえながら、今後の水田農業対策のあるべき姿等の検討や政策要望等、必要な取り組みをすすめる。また、JAグループ新潟・新潟米基本戦略を踏まえ、マーケットインの取り組みに基づく新潟米の販売力の強化、高品質・良食味米生産対策、需要に応じた生産と水田フル活用対策、生産者に対するきめ細かい情報提供、JAグループへの出荷結集に取り組む。

○米消費拡大対策

米の消費減少が米政策に大きく影響していることから、米消費拡大推進協議会と連携した広報活動・各種イベント等を通じて、各年代層に応じた米を中心とした日本型食生活の普及・定着に取り組むとともに、次世代の食習慣形成に重要な役割を果たす米飯学校給食等助成(米飯・米粉パン・米粉麺)を行う。

○園芸・畜産対策

園芸・畜産振興に向けて、県農業施策・予算への要請や全国段階と連携した政策提案とその実現に取り組む。

○国際貿易交渉対策

交渉内容の情報開示等を政府等に求めるとともに、最新の情勢を共有する等、必要な取り組みをすすめる。

○JA自己改革対策

自己改革実践サイクルの構築と実践に向けた取り組みを進めていくとともに、全国等と連携した政府への働きかけ等、必要な取り組みをすすめる。

○対外広報対策

JA総合事業に対する県民理解醸成や自己改革実践に係る情報発信強化等、対外広報活動を展開する。

○その他

地域農政等に関するJA段階の活動支援等を行う。

◆ 農政広報資金 令和4年度収支予算(令和4年4月から令和5年3月)

(単位:円)

項 目		予算額	内 容
収 入	拠出金	47,625,225	JA拠出金、県連拠出金
	負担金	20,809,712	JA負担金、県連負担金
	繰越金	12,668,859	前年度からの繰越
	雑収入	204	
収 入 合 計		81,104,000	

項 目		予算額	内 容
支 出	大会集会費	1,000,000	全国段階・県段階集会、他
	特別対策費	5,000,000	需要に応じた米生産の広報、他
	運営費	800,000	農対本部委員会、各種検討委員会、他
	対外広報対策費	33,534,000	JAグループ新潟統一広報助成、他
	米飯促進費	3,400,000	学校給食助成金、米飯消費拡大費
	政策価格対策費	11,613,000	米政策対策、国際貿易交渉対策、日本農業新聞特集号、他
	中央拠出金	13,533,000	全中農政広報対策資金拠出金
	組織活動費	11,523,809	
	(1) JA活動費	5,323,809	地域農政等に関する活動支援
	(2) 負担金・分担金	6,200,000	JA県青連・JA女性協、県米消費拡大推進協、北陸四県農対本部
	事務費	700,000	事務委託費、他
	雑費	191	
支 出 合 計		81,104,000	

◆ JA えちご上越 令和4年度農政広報資金拠出金の拠出基準

対象者 : 水田耕作面積10アール以上の組合員

対象面積: 水田耕作面積(但し、上限は1500アール)

拠出単価: 対象面積1アールあたり5.3円

チェーンソー資格取得講習会 開催のお知らせ

チェーンソーによる事故を防ぐため、資格取得講習会を開催します。受講者には労働安全衛生法にもとづく「特別教育修了証」が交付されます。詳しい内容については、JAえちご上越のホームページに掲載しています。

- 講習内容 ①伐木等作業に関する知識(学科)、②振動障害およびその予防に関する知識(学科)、③チェーンソーの操作・伐木等の方法(実技)など、計3日間

- 会場 JAえちご上越 有田支店 2階会議室
(上越市春日新田5-3-30)

- 受講料 22,000円(※当日お支払いいただきます)

- 定員 20人(※先着順)

- 申込締切 10月31日(月)

- 日時・講習内容

1日目	11月16日(水)	午前8時50分～午後4時30分	学科
2日目	11月17日(木)	午前8時30分～午後5時	学科・実技
3日目	11月18日(金)	午前8時30分～午後3時	実技

お問い合わせ先 農業対策課・経営サポート(TEL:025-527-2035)

土壌診断(分析)の受付について

土壌中の不足している養分と過剰な養分を把握する「土壌診断」に基づいた適正な施肥で、収量の安定化とコスト低減に取り組みましょう。

- 受付期間 通年

※受付順に分析をJA全農に依頼します。例年、10月～12月は大変混雑し、分析結果が出るまで時間を要します。早めに土壌サンプルを準備してお申し込みいただくか、時期をずらしてお申し込みください。また、混雑時期以外でも分析結果通知に1カ月以上かかることがあります。採取方法については、各営農センターにご確認ください。

- 提出先 最寄りの営農センター、資材店舗、支店

- 分析料金 無料

バランスの良い土づくりで生産コスト低減を目指しましょう。



お問い合わせ先 最寄りの営農センター、または農業対策課(TEL:025-527-2050)

注目!!

「JAアスパラガスハウス栽培団地取り組み支援事業」による取組み生産者の募集について

あなたも「アスパラガス」のハウス栽培に取り組んでみませんか?

アスパラガスのハウス栽培による高収益園芸経営に向けた取り組みをJAと関係機関が連携して支援します。

JAでは安定した需要が見込める「アスパラガス」のハウス栽培導入を支援し、作期拡大による反収の向上と有利販売につなげます。また、収益性の高い園芸経営が図られることにより、新たな産地化と農業後継者や新規就農者の育成確保をすすめます。

①支援内容

施設化園芸産地育成にかかる各種補助事業等を活用して、ハウス団地を設置し、リース方式(リース期間10年)*による「アスパラガス」のハウス栽培の取組みを支援します。

※リース料金については収穫物の販売が本格的に始まる3年目より支払いを開始する方式となります。詳しくは、下記へお問い合わせください。

②支援対象者

概ね50アール以上のハウス団地により「アスパラガス」のハウス栽培に取り組む意欲のある農業者等(認定農業者(認定就農者)、または当該農業者が構成員となる営農組織 ほか)。

③事業取組年度

当面、令和5年度～令和9年度の間に、新規で取組む農業者等への支援を予定しています。(事業の実施状況により取組み年度が変更になる場合があります。)



お問い合わせ先 園芸畜産課(TEL:025-521-5181 担当:小林・西條)
(上越市藤巻58-1・青果市場となり「園芸拠点集出荷施設」内)





「JA元気もりもり教室」のご案内

JAでは、組合員とご家族の皆さまの健康づくりを目的とした「JA元気もりもり教室」を開催いたします。コロナの時代だからこそ、「今、できること」を考えてみませんか？

No.	日 時	会 場	講座内容	参加費
1	11月29日(火) 午後1時30分	【頸北・わかば会場】 JA えちご上越 頸城支店2階	①市による健康情報提供(高齢者の脳・心疾患・糖尿病予防・子供の肥満等食事バランス・フレイル予防の食について) 30分	無 料
2	12月9日(金) 午後1時30分	【頸南会場】 JA えちご上越 新井支店2階	講師:上越市健康づくり推進課【上越、頸北・わかば会場】 妙高市健康保険課【頸南会場】 ②フレイル予防教室(講話と実技〜継続して出来る身体活動・運動等) 60分	
3	12月13日(火) 午後1時30分	【上越会場】 JA えちご上越 本店別館4階	講師:上越総合病院 理学療法士【上越、頸北・わかば会場】 けいなん総合病院 理学療法士【頸南会場】	

新型コロナウイルス感染対策について



- ★発熱や咳、風邪の症状があるなど、体調のすぐれない方は参加をご遠慮ください
- ★3密を防ぐため、定員の人数を制限しています
- ★新型コロナウイルスの感染状況により、開催を中止する場合があります

- 定 員:各回 15名(応募者多数の場合は抽選) ■締め切り:11月7日(月)
- その他:申込者には締切後、詳細文書をお届けします。
- 申込方法:電話又はFAXでJAえちご上越営農部地域ふれあい課までお申込みください。
- お問い合わせ:地域ふれあい課(TEL:025-527-2030/FAX:025-527-2039)

知って **得** する **信用・共済**

「秋・冬の貯いトク! キャンペーン」のお知らせ

令和4年10月1日(土)~12月30日(金)

【キャンペーン内容】

- ①ATMで預け入れすると金利**0.02%上乗せ!**
- ②ネットバンクで預け入れすると金利**0.02%上乗せ!**
- ③証書式定期貯金・定期積金の通帳式への切替えて
「よりぞうグッズ」プレゼント!

※預け入れは20万円以上200万円以内となります。

※「よりぞうグッズ」は、なくなり次第終了となります。

お問い合わせ先 各支店・出張所または金融課(TEL:025-527-2020)



上越あるん村 収穫感謝セール

10月8日(土)~10日(月)

地場産果物セットや海の幸などが
当たるガラポン抽選会ほか旬を楽しむイベントを
ご用意してお待ちしています!!

上越あるん村 大切なあの人に上越の味をお届け

ご存知ですか? あるん畑で購入した商品とあるんの杜・
あるんの海で購入した商品と一緒に発送できます。
(上越あるん村内でご購入いただいた商品を一つに梱包して発送できます。)
※重量や組み合わせの関係で同梱できない場合がございます。(税込)

宅配料金割引サービス 500円/個

※上越あるん村にて1,500円以上お買い上げのお客様に限りです。
※20kg以内の発送に限りです。持込み品の発送はご遠慮ください。

毎月15日・27日も割引サービス実施中

(離島・クール便は除く)

上越あるん村 新米 販売中!
~地場産の新米を味わいませんか?~いま 今摺り米コーナーでは、玄米を1kg
から販売し、無料の精米サービス
も行っています。一分から上白精
米までお好みの精米歩合をお選び
ください。サービスカウンターで
は発送も承ります。上越あるんの杜 地場産果物使用
季節限定&新作登場!!マロン
ホイップサンドパン屋さんの
ミルフィーユラスクイチジク
クリームチーズパン

お問い合わせ先 上越あるん村(代表TEL:025-525-1183)

2022年 新潟県 JA女性組織仲間づくり企画

コンサート

名曲「会いたい」
「沢田 知可子」「home」で紅白出場
「木山 裕策」「笑点」新メンバー!
「桂 宮治」

日程 11月22日(火)

会場 新潟テルサ

募集人員 40名
(最少催行人員25名)

参加資格 女性に限りです

講演会

旅行代金

17,300円

(チケット代、昼食代、交通費)
※概算となります。なお、県民割
が適用された場合はお安くな
ります。【コース】※貸切バスでの移動となります。
管内各地ー〈高速道路〉ー新潟ふるさと村(昼食・お買いもの)
8:30~9:30 11:30~12:40
ー「桂宮治」講演会と「沢田知可子&木山裕策」コンサート
13:15~17:00(予定)
ー〈高速道路〉ー管内各地19:30~20:30(到着)

観覧ご希望の方は下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先は

JAえちご上越 地域ふれあい課(TEL:025-527-2030)

旅行企画・実施 (株)農協観光 新潟支店

弁護士による無料法律相談会を開催します

JA本店にご来店いた
だき、パソコンで弁護
士事務所と中継する
リモート方式で行い
ます。法律問題でお
困りの方は、この機
会にご相談ください。相談会場
イメージ

相談弁護士 森 直樹 法律事務所弁護士

日時 令和4年11月18日(金)午前9時30分~正午

会場 JAえちご上越 本店(上越市藤巻5番30号)

対象者 組合員やその家族、当JAを利用されている方

募集定員 5人(1人あたり約30分) ※お申し込み順

申込方法 午前8時30分~午後5時(土・日・祝日除く)の間に、
電話でお申し込みください。※お申し込みは11月4日(金)まで。受付の際に「住所・氏名・相談
内容」を確認させていただきます。資料がある場合は、事前の提
出をお願いします。

※新型コロナウイルス感染症などの影響で中止する場合があります。

お申し込み・お問い合わせ先

各支店・出張所、または総務課(TEL:025-527-2001)

取得した個人情報 は法令を順守し、厳正に管理します。

昨年の振り返りや翌年の計画づくりに便利 3年連続日記のご案内

3年連続日記

令和5・6・7年版

3年タイプ

3年間の記録が一目でわかる!!

3年連続日記 10月1日発売
令和5・6・7年版

定価 **4,400円** (税別)

36ヵ月日記 縦・横
2023・2024・2025年版

10月1日発売 定価各 **2,970円** (税別)

栽培記録ノート(全3種)

10月1日発売 定価各 **1,100円** (税別)

■お申し込み先 お近くの資材店舗まで

除雪機の点検整備を承ります

JAでは、安全で効率的な除雪作業のため、除雪機の点検整備をおすすめしています。

【基本点検料金】※センターへお持ち込みいただいた場合。全て税込価格。

・小型機(5～9馬力)	12,100円
・中型機(10～14馬力)	16,500円
・大型機(15～24馬力)	22,000円
・大型ディーゼル機(25馬力以上)	27,500円



※上記以外の除雪機はご相談ください。

※基本点検以外の修理・部品・油脂など、また出張・引取納品料金は別途頂戴いたします。

※点検整備について、機種、予約総数により引き受けできない場合がございます。また持込につきましても、作業スペースに限りがございます。事前連絡をお願いします。

※年末年始は休業となります。早めの点検予約をお願いします。

※安全ボルト(シャーボルト)の予備をご用意ください。

■お問い合わせ先

上越農機工場	TEL:025-525-6614
わかば農機工場	TEL:025-592-2219
頸北農機工場	TEL:025-536-3640
頸南農機工場	TEL:0255-75-5032

人形・ぬいぐるみ供養祭を開催します

■日時 10月16日(日) 供養読経は午前10時～11時

■会場 虹のホールいなだ(上越市稲田4-5-15)

■供養料金 ・人形・ぬいぐるみ 1体につき500円(税込)

数量制限 一家族さま10体まで

・ひな人形 一式5,000円(税込)

※ガラスケース・せともの・ブリキなどの不燃物はお断りしています。

■人形受付 前々日:10月14日(金)午前9時～午後4時 } 虹のホールいなだ・あらい・
前日:10月15日(土)午前9時～午後4時 } なおえつ・おおがた
各ホールにて
当日:10月16日(日)午前9時～9時45分 虹のホールいなだのみ

■お問い合わせ先 JAセレモニーサービス(フリーアクセス:0120-971-959)

同時開催
葬儀・法要
相談会
午前9時～正午



お正月の食卓を華やかに JAの正月食品

年末年始に欠かせない餅や海産物、ハム、ミカンなど、JAが自信を持っておすすめする逸品をご賞味ください。商品カタログは、10月上旬のふれあい訪問などを通じてお届けします。

■お申し込み方法

11月上旬のふれあい訪問時にJA職員に申込書をお渡しいただくか、最寄りの支店にお持ちください。電話、またはFAXでもお申し込みいただけます。

■受付期間 令和4年10月3日(月)～11月4日(金)まで

■商品のお届けについて

正月食品の冷凍・冷蔵品については、JA指定の運送業者が配送します。※12月上旬から順次。

■お問い合わせ先 店舗生活課(TEL:025-530-7556、

FAX:025-526-3737)

JAの自動車共済なら

24時間・365日の安心サポート

事故の場合は

フリーダイヤル

0120-258-931

レッカーロードサービスは

フリーダイヤル

0120-063-931

平日の営業時間内(午前8時30分～午後5時)は、JAえちご上越までご一報ください。

「令和4年度原油価格・農業資材価格等高騰緊急対策資金」に関するご案内

JA えちで上越では、昨今の原油価格・農業資材価格等の高騰に伴い、農業経営に大きな影響を受ける農業者への支援として「令和4年度原油価格・農業資材価格等高騰緊急対策資金」を創設しました。

貸付対象者	以下の条件をすべて満たす方とします。 ○原油価格・農業資材価格等高騰により直接的・間接的に影響を受けた農業者の方 ○その他 当JAが定める条件を満たしている方
資金使途	○農業経営維持において必要となる資金(運転資金)
貸付金額	2,000万円(1農業者あたり貸付限度額) ※ただし、JA所定の算定方法により算出した収入減少額の範囲内とする。
貸付期間	10年以内(うち据置期間2年以内)
貸付利率	固定金利 年1.75% 利子補給後の貸付金利は0.00% (利子補給期間:貸付実行後5年間)
担保・保証	原則として、新潟県農業信用基金協会の保証を受ける必要があります。※保証料が別途必要となります。 (一定条件を満たす場合、貸付実行後最長5年間分の保証料助成の対象となります。) 必要に応じて担保・連帯保証人が必要となる場合があります。
取扱期間	令和4年9月1日(木)から令和5年3月31日(金) ※令和5年3月31日(金)までの貸付実行案件を対象とする。
取扱限度額	県下5億円

※お申込みに際しては、JA所定の審査をさせていただきます。なお、審査内容によってはご希望に添えない場合もございますので予めご了承ください。

●詳しい内容につきましては、各支店の融資担当者までお問い合わせください。

上越市・妙高市農業委員会からのお知らせ

農地の貸し借り・売買などの際は、農業委員・農地利用最適化推進委員へご相談ください

○農地についての窓口になります

「農地を貸したい、売りたい人」と「農地を借りたい、買いたい人」の間に立って調整します。

○担い手への農地の集積と集約を進めます

担当地域で、担い手へ農地を集め、耕作しやすくように集約を進めるなど、担い手を支援します。

○就農後は身近な相談相手となります

新規就農者のサポートチームの一員として、農地に関する相談などに応じ、経営が軌道に乗るよう支援します。

【上越市の方】 委員の連絡先は、下記事務局または区総合事務所内の駐在室へお問い合わせください。

旧上越市	上越市農業委員会事務局 TEL: (025) 526-5111 (内線 2162、2163)	牧区	牧区駐在室	TEL: (025) 533-5141	中郷区	中郷区駐在室	TEL: (0255) 74-2411	
		柿崎区	柿崎区駐在室	TEL: (025) 536-6711	板倉区	板倉区駐在室	TEL: (0255) 78-5181	
安塚区	安塚区駐在室	TEL: (025) 592-2003	大潟区	大潟区駐在室	TEL: (025) 534-2111	清里区	清里区駐在室	TEL: (025) 528-3111
浦川原区	浦川原区駐在室	TEL: (025) 599-2302	頸城区	頸城区駐在室	TEL: (025) 530-2311	三和区	三和区駐在室	TEL: (025) 532-2323
大島区	大島区駐在室	TEL: (025) 594-3101	吉川区	吉川区駐在室	TEL: (025) 548-2311	名立区	名立区駐在室	TEL: (025) 537-2123

【妙高市の方】

妙高市	妙高市農業委員会事務局	TEL: (0255) 74-0030 (直通)
-----	-------------	--------------------------



NOSAI新潟からのお知らせ 収入保険でリスクへの備えを

「収入保険」は、様々なリスクによる収入減少を補償します。

青色申告を行っている農業者(個人・法人)が加入でき、農業者が自ら生産した農産物の販売収入の9割を下回った場合に、下回った額の最高9割が補填されます。

保険期間は1月(法人は事業年度開始月)から1年間です。現在、令和5年の加入申請を受け付け中です。農業者(個人)のお申し込みの期限は12月末までです。

米価の下落や極端な気象現象の多発、長期化するコロナ禍の影響等により、新潟県では契約件数の約5割を超える農業者に保険金等が支払われています。リスクへの備えはぜひ収入保険をご選択ください。

■お問い合わせ先 NOSAI新潟 上越支所 収入保険課(TEL:025-525-1130)

ご葬儀・ご法要は

JAセレモニーサービス フリーアクセス 0120-971-959

年中
無休

24時間
対応

虹の会会員募集中
「会員の3大特典あり」

虹のホール いなだ 025(527)2077
虹のホール あらい 0255(70)0101

虹のホール おおがた 025(535)1210
虹のホール なおえつ 025(544)1044



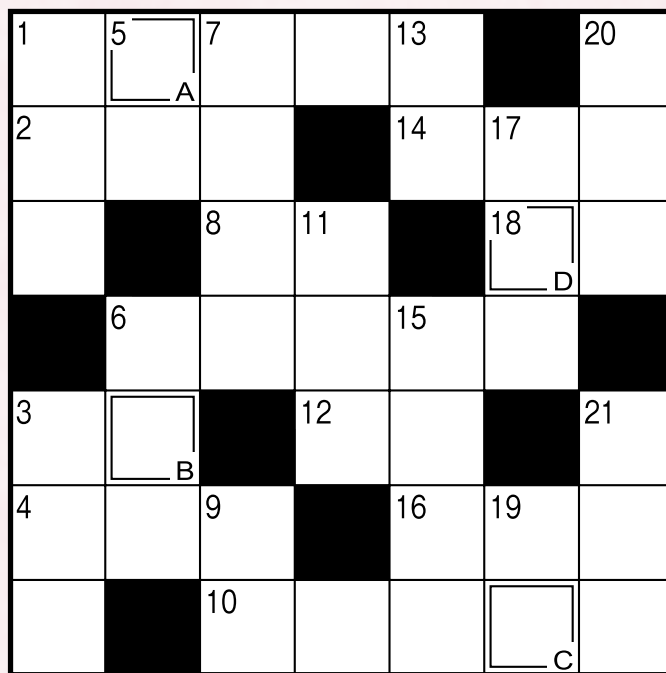
- 21 阿寒湖のものは国の特別天然記念物
- 20 ノーの反対語
- 19 たんすやソファなどのこと
- 17 台所のこと。漢字で書くと「厨」
- 15 海水の影響で塩分を含む湖
- 13 視聴——、円周——
- 11 学校の運動会で踊ることもあります
- 9 日本国憲法では——の下平等が保障されています
- 7 池の——によって、土地を増やした
- 6 好・始・娘・妹は——偏の漢字
- 5 中国の大きな打楽器
- 3 オクトーバーフェスト発祥の国です
- 1 機械などのパーツのこと

タテのカギ

クロスワードパズル

出題：ニコリ

二重マスの文字をA～Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



答え

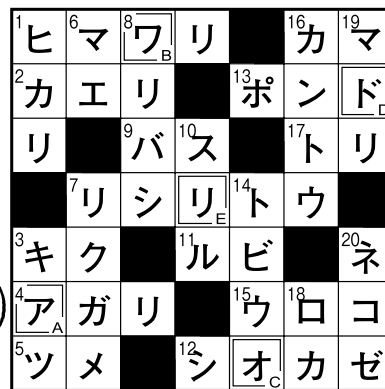
A	B	C	D
---	---	---	---

ヨコのカギ

- 1 巨峰やピオーネ、デラウェアなどの収穫体験ができます
- 2 竜宮城で舞う魚
- 3 卵と鶏肉とご飯で親子——を作った
- 4 実るほど頭(こうべ)を垂れる——かな
- 6 コロコロと気分が変わる人のこと
- 8 無料です。代金はいりません
- 10 秋の空にぼこぼこと浮かびます
- 12 ろうそくの炎にガラス板を近づけると付きます
- 14 学校の教室に並べるもの
- 16 船が停泊するときを下ろします
- 18 クルミが似合うげっ歯類

8月号の答え

答え
「アワオドリ」



応募総数は
107 通でした。



広報担当のつぶやき

早いものでもう10月。1年の4分の3が過ぎました。
今年はいつよりも早く新米を食べる機会にありつけました。やっぱりうまい！米どころに生まれてよかった～と実感する瞬間の一つだと思います。
子供のころ新米を食べてそのおいしさに初めて気づいた時の衝撃。今でも忘れません。
「あれからうん十年・・・」。今でも新米を食べて感動を味わえる。これってすごく幸せことだな～と思いました。(金・洋)



今月のプレゼント

あるんの社の人気商品！

雪室人参ドレッシング 2本セット × 10名さま

(オリジナル & まろやか白味噌味)

冬の農業所得向上を目指す農家とJAが連携して開発しました。数メートルの雪が積もる上越市牧区高尾集落で1カ月以上、雪室でじっくり寝かせた雪室ニンジンを使用しています。まろやか白味噌味は、高田農業高校の生徒が考案した上越ならではの商品です。

メイド・イン・上越
に認証！



おたより広場

今月のテーマ

やっぱりコレが一番！

好きなおにぎりの具は？

おにぎりの具は梅干しが大好きです。小さい頃の遠足、旅行の時の母のしょっぱい梅干し入りの大きなおにぎりを思い出します。

(大島区 F・Mさん)

自分で作った梅干しを練り梅にし、おかかをたっぷり入れ、少々甘めに。それをおにぎりの具に。これだけで朝・昼・晩、毎日いけます。夏バテ、食欲不振一切なし!!

(妙高市 T・Yさん)

好きなおにぎりの具は「昆布のつくだ煮」です。昆布のうまみがまわりのごはんにもしみついて、一口食べると口中においしさが広がります。(頸城区 S・Yさん)

一番好きな具はシヤケです。

(妙高市 H・Sさん)

外側だけさつと焼いて、中はま

だ生のままのタラコです。あとは定番の梅干し、昆布のつくだ煮。

(頸城区 H・Kさん)

一番好きなのは筋子です！夫婦共に大好きなので、先日コンビニで筋子おにぎり「ラスー」だった時も、夫が先に取って譲ってくれませんでした。しょう油よりは塩筋子の方が筋子本来の味を感じられる気がします。

(上越市 N・Mさん)

巷で断トツのツナマヨも好みですが、我が胃袋が求めるのは、やはりネギ味噌の具が一番です。甘じょっぱさにネギの香りは最高です。

(上越市 A・Hさん)

多めにエビの天ぷらを作った時、めんつゆをつけて「エビ天むす」を握ります。エビの尾の赤色、海苔の黒と彩りが良く、最近ハマっているおにぎりの具です。

(板倉区 S・Tさん)

かつお節と紅ショウガを刻んだ(みじん切り)ものにしょう油をちよつとたらし具にするとおいしいですよ。

(上越市 M・Mさん)

炊きたてのごはんにはお塩をつけて食べるのが一番ですね。大好きです。

(頸城区 A・Sさん)



(上越市 H・Mさん)

編

今月もたくさんのおたより、ありがとうございます。うございました。(金・洋)はタラコ、明太子などの具が好きですが、母親が作ってくれた味噌おにぎりも好きです。

次号のテーマ

教えて！

あなたの好きな果物は？

パズルの答えと一緒に「おたより」もお待ちしています♪

テーマへのご意見や日々の出来事など何でもOK！絵手紙やイラスト、俳句などもお寄せください。応募された作品の返却はできませんので、ご了承ください。皆さまの投稿をお待ちしています。

※郵便料金の不足にご注意ください。通常はがきは63円です。

『①パズルの答え、②郵便番号・住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥広報誌の感想、おたよりなど』を記入し、ハガキまたは封書にてご応募ください。正解者の中から抽選で、「雪室人参ドレッシング(2本セット)」を10名さまにプレゼント！当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

※ハガキまたは封書に基づく個人情報は賞品の発送、おたよりなどの掲載に利用します。

切手	〒943-0817 上越市藤巻5番30号 JAえちご上越 広報クイズ係	①パズルの答え ②郵便番号・住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥広報誌の感想、おたよりなど
----	--	--

締切
10/31(月)
消印有効

10月のうんまいレシピ

今月の料理当番

ほっこり笑顔のお惣菜

おかげさま

『けんさん焼き』(けんさしやき・けんさやき)は、おにぎりに味噌や甘味噌をぬって焼いた郷土料理です。名前の由来は上杉謙信が戦時に兵糧として、冷めてかたくなってしまったおむすびを剣先にさして焼いて食べたのが始まりといわれています。味噌をぬったけんさん焼きはもちろん、味噌をぬらずにまずは米本来の味を楽しむのもオススメです。『ベース味噌』はそのままで美味しく、作る際はあらかじめ多めに作って保存しておけば、シソの実やクルミ以外にもニンニク、ショウガ、ネギなどを混ぜることで、バリエーション豊かな味噌が作れます！

土鍋炊きごはんのけんさん焼き風

〈材料〉(2〜3人前)

米……………2合
水(炊飯用)……………400ml

A (ベース味噌)

味噌……………300g
砂糖……………200g
みりん……………大さじ3

シソの実……………適量
シソの葉……………適量
クルミ……………適量

〈作り方〉

【土鍋ご飯】

- ① 米を研ぎ、30分ほど吸水させる。
- ② ザルにあけ水をよく切り、土鍋に米を入れる。水を入れ、蓋をして強火で沸騰させる(4〜5分)。沸騰したら火を弱火にして10分炊く。火を止め10分ほど蒸らす。
- ③ 丸く平たいおにぎりを作り、フライパンで軽く焦げ目がつくまで焼く。(味噌をぬって焼き網やオーブントースターで焼いてもOK！)

【シソ味噌】

- ① 鍋にAを入れ焦げ付かないように混ぜる。(ベース味噌)。
- ② シソの実を枝から外し軽く洗ったものを①に投入する。火にかけしばらく練る。
- ③ お好みで刻んだシソの葉を入れ、さっくりと混ぜたら完成。

【クルミ味噌】

上記ベース味噌にクルミを入れ、火にかけしばらく練ったら完成。

今月の食材



新米&土鍋ご飯

稲刈が進み、さまざまな品種の「新米」が並ぶようになってきました。この地域で生産される品種はコシヒカリを筆頭に、こしいぶき、つきあかり、新之助、みずほの輝きなどが、それぞれに特徴があります。にじのきらめきという品種も登場しました。

毎食、炊きたてのごはんを食べたいところですが、一度に2〜3日分をまとめて炊く場合は、熱々のうちにごはんをラップで包み、粗熱が取れたら冷凍で保存するのがおすすめです。

また、土鍋で炊くことでいつもと違ったごはんに出会えるかもしれません。ぜひお試しください。